
VPS 変換手順書 (ICAD/MX)

All Rights Reserved, Copyright(C) 富士通株式会社 2014

改版日付	改版内容
2014/05/16	ICAD/MX V7L3 に対応しました
2013/07/03	—

*** はじめに ***

ICAD/MX データを VPS に変換する手段としては, CAD コマンドの「名前を付けて保存」や「エクスポート」およびバッチプログラムがあります. 変換の詳細については, ICAD/MX のマニュアルを参照してください. CAD コマンドについては, 「オペレーションマニュアル(共通編)」を, バッチプログラムについては, 「VPS 出力解説書」を参照してください.

*** インストール手順 ***

ICAD/MX 用データ変換機能は ICAD/MX 側に組み込まれています. インストールの必要はありません.

***** 使い方 *****

1. 実行方法

1.1 CAD コマンド

「名前をつけて保存」や「エクスポート」コマンドを実行して, ファイルの種類で VPS ファイルを選択してください.

使用できる変換オプションは下記の通りです.

【変換オプション】

- 非表示部品を出力
非表示設定した部品を変換するかを指定します。チェックした場合、部品は非表示状態を保持したまま変換されます。
- モデルコメントを出力
属性情報である「モデルコメント」を出力するかを指定します。
- シート部品を出力
シート部品を出力するかを指定します。
- 上位項目1～10を出力
属性情報である「上位項目」を出力するかを指定します。
- 関節情報を出力
ICAD/MX で設定された関節情報を出力するかを指定します。
- 半透明設定を出力
ICAD/MX で設定された半透明情報を出力するかを指定します。
- 出力精度
変換距離精度を 0.0001 ~ 9999.9999 の範囲で指定します。
- アセンブリ出力指定
アセンブリファイルの出力方法を、アセンブリ+ 形状ファイルを出力する、アセンブリファイルのみ出力する、形状ファイルのみ出力するから選択します。

1.2 バッチプログラム

ICAD/MX のインストールフォルダ配下の「vps¥bin」フォルダ配下に、VPS 出力関連のファイルが登録されています。「mxtovps.bat」がバッチファイルの雛型として用意されていますので、このファイルを修正して実行してください。修正方法については、ICAD/MX のマニュアル「VPS 出力解説書」を参照してください。

指定できる変換オプションは下記の通りです。

【変換オプション】

- -asy [1|2|3]
アセンブリモデルを対象とするアセンブリ変換モードを指定
1 : アセンブリファイル(.asy) + 形状ファイル(.slp)
2 : アセンブリファイル(.asy) のみ
3 : 形状ファイル(.slp) のみ
- -slp
部品を対象とする部品変換モードの指定

- -asz
VPS のアーカイブファイル変換モードの指定
- -d モデル名...
変換対象となる ICAD/MX の3次元モデル名を指定. モデル名は複数指定可能
- -DN モデル一覧ファイル名
変換対象となる ICAD/MX の3次元モデル名を格納しているファイル名を指定
- -RN モデルおよび登録ファイル名一覧
変換対象となる ICAD/MX の3次元モデル名および VPS データ登録ファイル名を指定
- -rn 登録ファイル名
変換後の VPS のファイル名を指定. 省略された場合は, 変換対象の ICAD/MX の3次元モデル名となる
- -ip モデル登録元フォルダパス名
変換対象となる3次元モデルの登録元のフォルダを指定. 省略された場合は, カレントフォルダとなる
- -op VPS データファイル登録先フォルダパス名
変換した VPS データファイルの登録先フォルダ
- -rp | -rs
登録時の図面重複に対する処置を指定. 省略時は -rp となる
-rp : 置換する
-rs : 置換しない
- -dst
部品変換時の変換距離精度の指定. 0.0001~9999.9999 で指定. 省略時は 0.1 となる
- -mass | -nomass
重量, 重心を出力するかの指定
-mass : 出力する
-nomass : 出力しない
- -joint | -nojoint
関節情報を出力するかの指定
-joint : 出力する
-nojoint : 出力しない
- -hide | -nohide
非表示部品を変換するかの指定
-hide : 出力する
-nohide : 出力しない
- -slb
形状ファイルをバイナリ形式で出力する
- -slb_form [2|5]

VPSの形状ファイルをバイナリ形式ファイル(.slb)で出力する場合の出力フォーマットを指定。本オプションは、バイナリ形式ファイル(「-slb」)を指定したときのみ有効。

—slb_form 2: SLB2形式で出力

—slb_form 5: SLB5形式で出力

- -modelcomment

ASY ファイル出力時に、モデルコメントを出力する。省略時は出力しない。

- -upperitem

ASY ファイル出力時に、上位項目1~10を出力する。省略時は出力しない。

- -alpha

部品の半透明設定を出力する。省略時は出力しない。

2. その他変換仕様

- 変換距離精度にて、VPS へのポリゴン変換の際の変換精度を指定します。変換距離精度は、曲面に対するポリゴン面との誤差(距離)を指定するものです。この精度を高くする(誤差を小さくする)と、ポリゴン分解が細かくなり、精度を低くする(誤差を大きくする)と、ポリゴン分解が粗くなります。
- VPS に出力される色は、各部品に設定した「部品色」となります。「構成要素色」でも部品の色が付加されているように見えますが、出力される色は「部品色」であることに注意してください。
- “Space”, “Space0”, “root”は、システムの予約語です。部品名称に用いることはできません。大文字小文字は区別します。“Space0”の最後の文字は数字の「ゼロ」です。またダブルクォーテーション「”」を名称に含めることはできません。